

(一般屋内用)

品番

下面開放	FSA22701A
マルチコンフォート15	FSA22706A

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

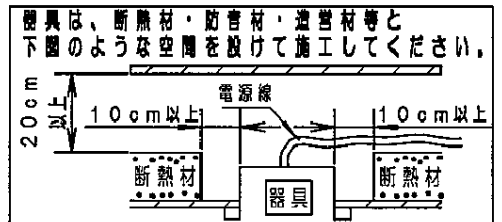
施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

警告

- 施工は、施工説明にしたがい確実にこなす。
施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 断熱材、防音材をかぶせて使用しない。
火災の原因となります。
- 器具を改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 天井埋込専用ですので、壁取付や天井直付はしない。
落下・感電・火災の原因となります。
- 表示された電源電圧(定格電圧±6%)・周波数で使用する。
指定外の電源電圧・周波数で使用すると、感電・火災の原因となります。

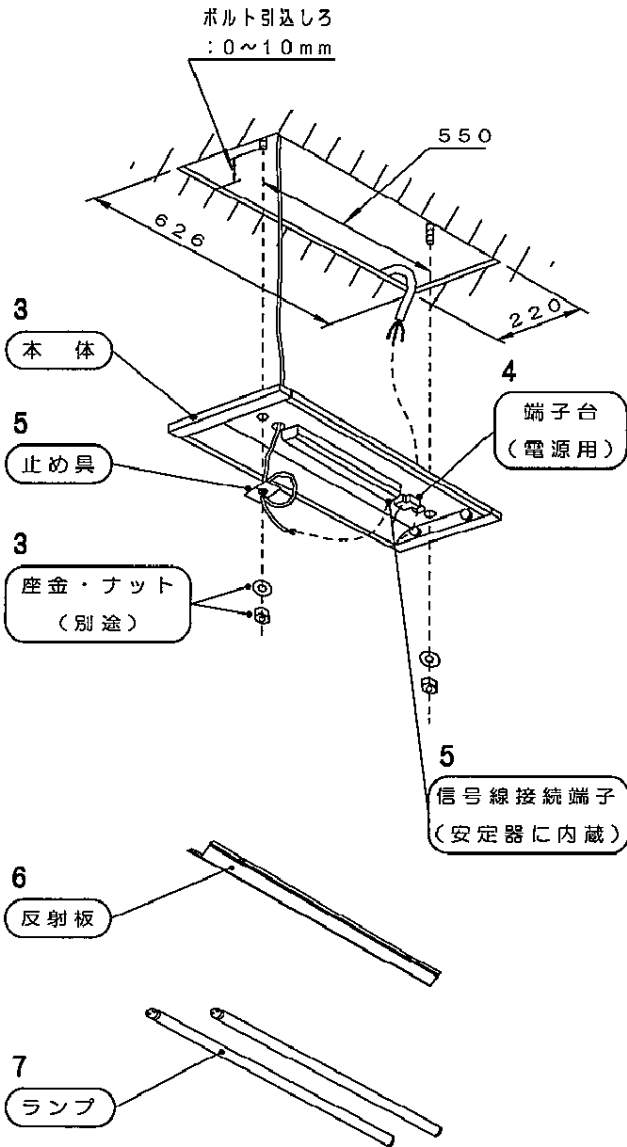


注意

- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動の強い場所、雨水のかかる場所、風の強い場所、腐食性ガスの発生する場所では
使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃以外で使用してください。指定外の周囲温度で使用すると、ちらつきや短寿命の原因となります。

各部のなまえと取付方法

FSA22701Aの場合。



1 取付前の確認

- 器具質量 (1.9kg) に十分に耐えるよう、取付ボルト取付部の強度を確保する。
(取付ボルトは、W3/8又はM10を使用する。)
不備があると器具落下の原因となります。

2 埋込穴の開口

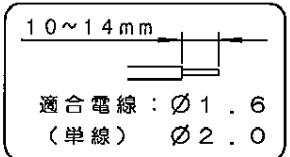
- 埋込穴、取付ボルトを図のように用意しておく。

3 本体の取付

- 電源線、アース線を本体の電源穴から引き込んでおく。
- 本体を取付ボルトに確実に取付ける。
(推奨トルク値0.8N・m)
ナットを必要以上に締め付けると、スキマ発生の原因となります。

4 電源線・アース線の接続

- 電源線、アース線を確実に差し込む。
- D種 (第3種) 接地工事が必要。
- 端子台の容量は、20Aです。
接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、火災の原因となります。

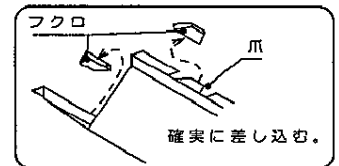


5 信号線の接続 (PX方式の場合)

- 下記の説明文に従い、確実に接続してください。

6 反射板の取付

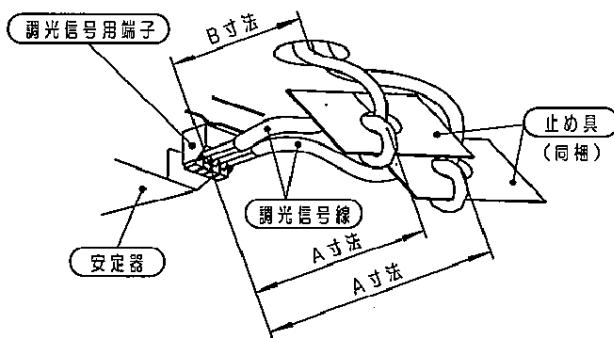
- 反射板の爪を本体のフクロに確実に差し込む。
取付が不完全な場合、反射板落下の原因となります。



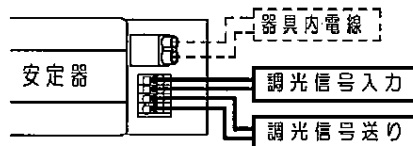
7 ランプを確実に取付ける

- 取付が不完全な場合、ランプ落下の原因となります。

信号線用端子台に接続する場合



適合電線 (CPEV)
Ø0.9・Ø1.2
7~9mm

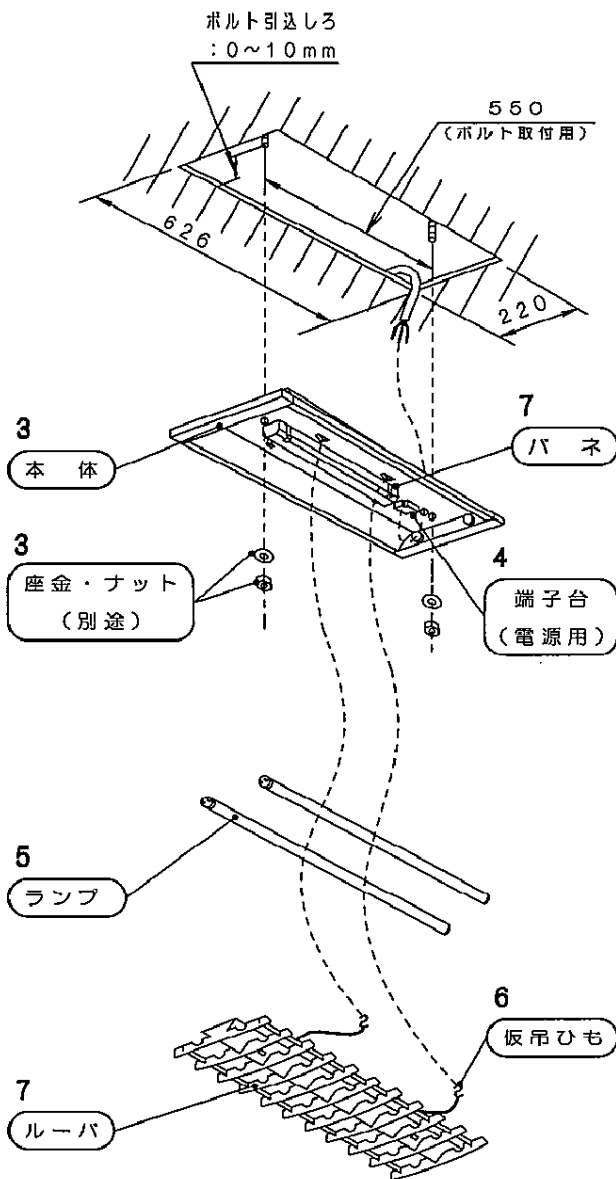


<信号線の接続と張力止め>

- 調光信号線を止め具に一回転させる。
*送り配線される場合は、2個の止め具を使用。
(止め具が2個分一体化している場合は、) 分断してご使用ください。
- A寸法がB寸法より長くなる様に調整する。
(安定器の調光用信号端子に直接張力が加わらないように調整する。)
- 調光信号線を安定器の調光信号端子差込穴に確実に差し込む。
・調光信号線に極性はありません。
接続が不完全な場合、破損・火災の原因となります。

各部のなまえと取付方法

FSA22706Aの場合。



1 取付前の確認

- 器具質量(2.4kg)に十分に耐えるよう、取付ボルト取付部の強度を確保する。
(取付ボルトは、W3/8又はM10を使用する。) 不備があると器具落下の原因となります。

2 埋込穴の開口

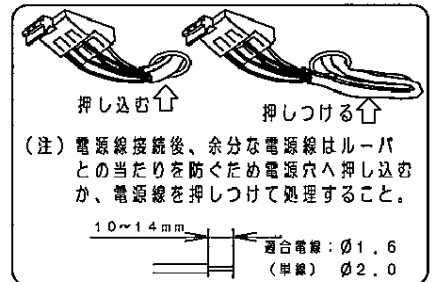
- 埋込穴、取付ボルトを図のように用意しておく。

3 本体の取付

- 電源線、アース線を本体の電源穴から引き込んでおく。
- 本体を取付ボルトに確実に取付ける。(推奨トルク値0.8N・m) ナットを必要以上に締め付けると、スキマ発生の原因となります。

4 電源線・アース線の接続

- 電源線、アース線を確実に差し込む。
- D種(第3種)接地工事が必要。
- 端子台の容量は、20Aです。
接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、火災の原因となります。

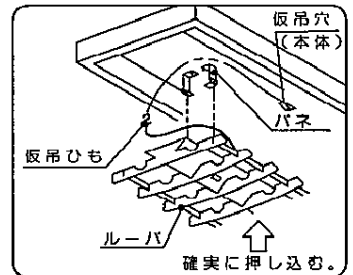


5 ランプを確実に取付ける

取付が不完全な場合、ランプ落下の原因となります。

6 仮吊ひもの取付

- 仮吊ひもを本体に確実に取付ける。
取付が不完全な場合、ルーバ落下の原因となります。



7 ルーバの取付

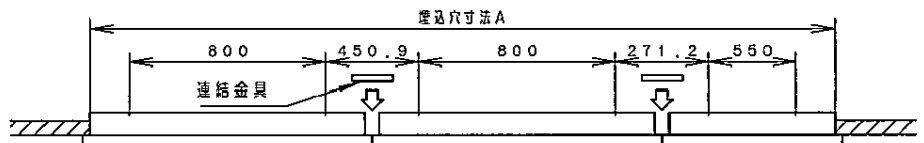
・パネにルーバを押し込み確実に取付ける。

連結の場合

- 連結の際は連結金具(FHK42701)が別途必要になります。
- 16W器具は連結端用です。
連結の真中には取り付けられません。
- 連結の場合の埋込穴寸法Aは右記の通りです。

埋込穴寸法A

- FSA22701Aの場合。
220×(1250.9×N+626) <FSA42700Aと連結の場合>
(N:FSA42700Aの器具台数)
- FSA22706Aの場合。
220×(1250.9×N+626) <FSA42705Aと連結の場合>
(N:FSA42705Aの器具台数)

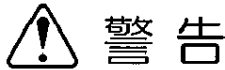


取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

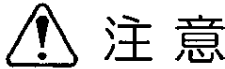
・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意



警告

- 器具を改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。



注意

- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- アルカリ系洗剤は使用しない。強度低下による破損の原因となります。
- 照明器具には寿命があります。設置して10年*経つと、外観に異常がなくとも内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
- 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災に至る場合があります。

使用上のご注意

- ・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
- ・同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
- P X方式の場合。(FSA22701Aのみ)
 - ・5~15℃程度で調光時に移動痛がでる場合がありますが、5分以内に解消します。
 - ・光出力比(%)と目で感じる明るさ感には相違があります。また、光出力比は室温、器具形態により異なり、ランプ周囲温度が高くなるほど調光範囲は狭くなります。
 - ・ランプが点滅する場合は、ランプ寿命をあらわしています。

保証について

- ・保証について・・・この商品の保証期間は1年間です。但し、安定器は3年間です。
ランプ等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- ・保証書について・・・保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- ・補修用性能部品の・・・弊社はこの照明器具の補修用性能部品(電気部品)を製造打ち切り後、6年間保有しております。
保有期間 補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ・ランプ交換

- ・器具の清掃について・・・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。変色・変質、強度低下による破損の原因となります。
- ・ランプ交換について・・・本体表示にしたがって、下記の指定された部品を使用してください。(パナソニック製蛍光ランプをご使用ください。)

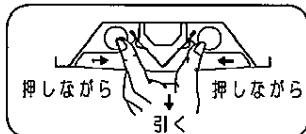
交換部品

蛍光ランプ

FHF16EX

1. ルーバを取りはずす。
2. ランプを交換する。
3. ルーバを取付ける。

取付が不完全な場合、
ルーバ落下の原因となります。



注意

- 感電のおそれあり
ランプ交換時は、必ず電源を切ってください
- やけどのおそれあり
点灯中や消灯直後はランプやその周りにさわらないこと